

大豆技術情報(第4号)

令和2年10月
富山農林振興センター
富山市農業協同組合

まもなく大豆の収穫時期となります。今年度より「えんれいのそら」の全面切り換えとなりました。成熟期は「エンレイ」より5日程度遅い品種です。

そのため、「黄葉期」や「落葉期」を基に「成熟期」を予想し、莢の90%以上が褐色になった頃（子実水分22%）を確認してから収穫を始めましょう。

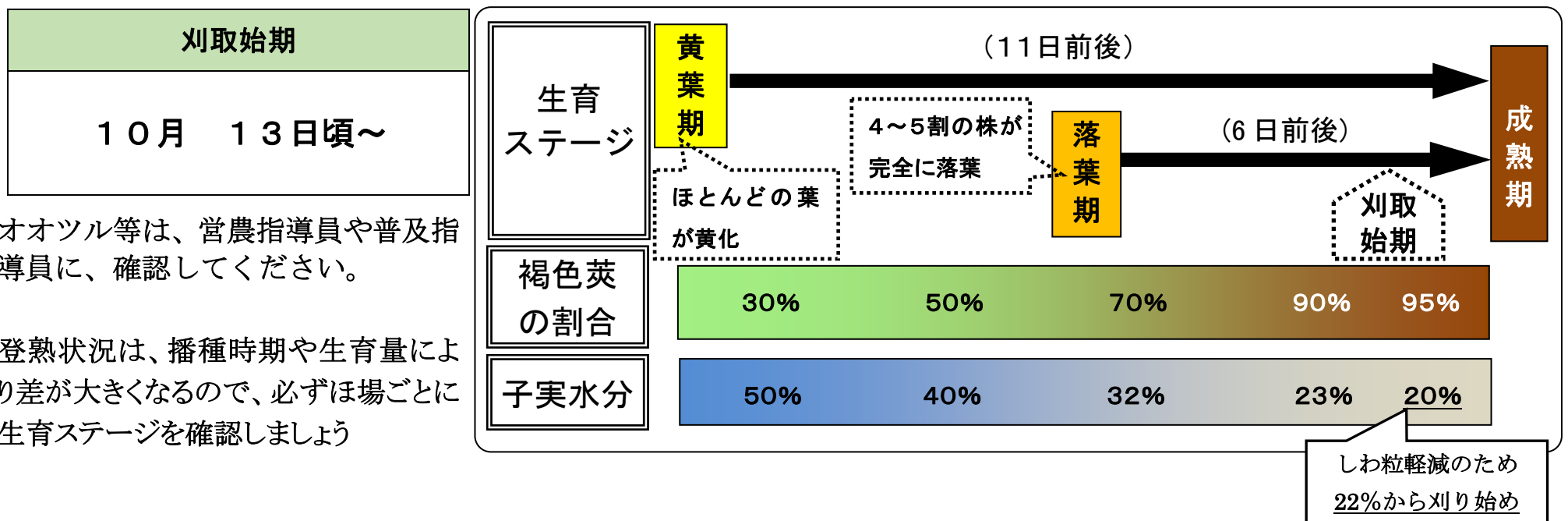
刈取始期の判定

～褐色莢割合から生育ステージを確認～

- ・ほ場毎に成熟期の目安をつけ、作業計画を立てましょう。
- ・莢の熟色を確認し、**莢の90%以上が褐色になった頃(子実水分22%)**から刈り始めましょう。

表 刈取始期の目安(えんれいのそら)

「えんれいのそら」の収穫時期の目安



注意!

刈り遅れると、しわ粒や腐敗粒の発生要因になります。
茎の色みが若干残っていても、莢色を優先して収穫してください。

収穫作業

- ・汚損粒防止のため、**収穫前にイヌホオズキ等の大きな雑草や青立株を必ず抜き取る**とともに、**土をかき込まないよう刈取り高さは地際から10cm程度**に調整しましょう。
- ・収穫は、**午前10時～午後4時**を目安とし、**莢が乾いていることを確認**してから行いましょう。
- ・**作業速度は0.4～0.8m/秒(2.9km/時)程度**とし、大豆の生育量が大きい場合は、更に速度を落とすなど、コンバインのつまりを防ぎましょう。
- ・黒根腐病が発生したほ場は、病害の蔓延を防ぐため、収穫を最後にまわしたり、別刈りにしましょう。また、収穫作業後は、コンバイン等の洗浄を徹底しましょう。



イヌホオズキ

次年度対策

① 土づくり

- ・近年の収量低迷やしわ粒の発生などは、地力の低下も大きな要因と考えられます。
堆肥の施用や緑肥作物(ヘアリーベッチ等)の作付け・鍍込みにより、収量や品質の向上を図りましょう。
※ヘアリーベッチの播種は、10月上旬までに行うとともに、しっかりとした排水溝を設置しましょう。

② 排水対策

- ・次年度の作付予定地には、年内に額縁排水溝を設置しましょう。



<秋の農作業安全運動(8月20日～10月20日)実施中>